

せいしよの
ことば

オ リ ー フ 通 信

野の花がどのように育つのか、注意してみなさい

マタイによる福音書6章28節

神愛保育園

5月をおかえて

入園・進級を迎えてから早くも1か月ほどたちました。そして、この森下の地に初夏を告げる悩ましいウミネコがやって来る季節になりました。毎年のことですが、散歩の際などは警戒と用心をしながら、そして今年は早く暑くなるということもいわれていますので、早めの水分補給などを行いながら、この季節のお散歩を楽しんでいきたいと思ひます。

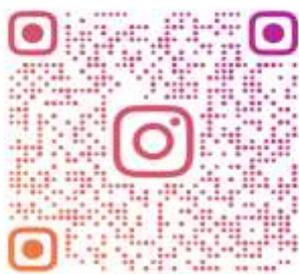
さて、どのクラスも新しい出会いや環境を体験しながら、子どもたちは様々なことに関心を持ち、楽しく取り組んでいる様子が見られます。つくし組の赤ちゃんも、この1か月で保護者以外の大人やお友だちとのかかわりを体験し始め、少しずつ社会が広がってきています。隣にいるお友だちに興味を示し、顔を触ってみたり、手を伸ばしてみたりとお友だちを実感していることを感じます。また、つくし組以外のクラスの大人が声をかけようとすると、顔を覚え始めたつくし組の保育者の方を向いて不安を示す姿もあります。いつも周りにいてくれる大人との愛着・信頼関係をこの一か月間で築き始めている0歳児つくし組の赤ちゃんの大きな成長が見られます。つくし組が心も体も目に見える一番大きな成長がありますが、各クラスの子どもたち一人ひとりもこれからの日々の成長が、とても楽しみです。

そして、5月中旬から各クラスとも「保育参加」が始まります。保育園は子どもの集団の世界です。その子どもたちの中に保護者の方も入っていただき、自分のお子さんはもちろんのこと他のお子さんとも一緒に子どもの姿を感じたり、一緒に体験したりして頂ければという趣旨と願いから実施しているものです。保育園は、保護者の方と様々なかかわりがあります。しかし、その一方で、登園や降園及び親子参加の行事以外の見えない部分、見えにくい面も持ち合わせております。それゆえ、保育内容を公開し、子どもと過ごす時を共有し、理解を深めて頂くため「保育参加」を行っています。その中で、ご家庭とは異なる子どもの姿、ひとりの時にはみられない姿、お友だちとの遊びや関係などからお子さんの新たな発見をするこ

ともあります。参加は自由です。お仕事のご都合等があると思ひますので、無理はなさらなくて下さい。諸般の事情から期間を設けていますが、設定期間以外でも歓迎です。ぜひ、ご相談下さい。

最後に、懇談会でお伝えした「Instagram」を開設しました。なるべく更新するようにしていきます。一度訪ねてみてください。

神愛保育園園長 鵜澤由記子



SHINNAIHOIKUEN_

ユーザーネーム shinnaihoikuen_





食事だより



神愛保育園では以下のことに配慮して食事を提供しています

☆国産の食材を主に、無添加の調味料を使用しています☆

お米は栃木県産と秋田県産の2か所から取り寄せており、1歳～5歳クラスまでは五分づき米を使用しています。(雑穀も一緒に炊き込んでいます。) その他にも、近隣の八百屋さん、お肉屋さん、魚屋さんからその日に市場で仕入れてきた新鮮な食材を納品して頂いています。調味料は生協の国産の食材を使用した無添加のものを使用しています。(果物は価格高騰と誤嚥事故防止により提供の種類が減っている為に、2024年度の2月から輸入品も使用しております。)

☆ごはんが中心の和食献立を多く取り入れています☆

パンや麺のメニューはおやつも含め、週2～3回を目安に組み込んでいます。季節(旬)や行事に合わせたメニューや、郷土料理なども取り入れています。(郷土料理は月に一回です。献立表に記載しています。)

☆保育園での栄養目標に準じた献立を作成しています☆

4月は1日平均でたんぱこ・もも組 **約500kcal** ちゅうりっぷ・ひまわり組 **約600kcal**を昼食とおやつから摂取できる様にしています。身長・体重の成長にあわせて、栄養価など見直しながら園の特色を生かした食事内容を検討しています。

☆毎日だしを取り、おいしく体に優しい食事を提供していきます☆

だしは国産で自然食の干し椎茸、天然の昆布、ブレンドの厚削りを使用しています。離乳食では素材の味を生かし、調味料は少量で段階に合わせて使用します。乳幼児食もただ薄いだけで味気ない食事ではなく、旨味を感じられる塩分を考えながら味付けをしています。(塩分濃度は0.6～0.7%を基準値とし、調理職員全員で味見をして、塩分計も使用しています。)

☆肉類の提供には細心の注意を払っています☆

近年、肉類の誤嚥による死亡事故が増えています。それに伴って、神愛保育園でも肉類を提供する際には子どもたちの口腔内の発達に合った物を提供しています。主に乳児クラスには、1cm以下の大きさを提供しております。(幼児クラスで必要な子どもには、個人対応を行っています。)

その他にも誤嚥などの事故を防ぐために、全クラスで子どもたちが食べ終わるまで食事を見守る職員を配置しています。(江東区で2025年度4月より義務付けられました。)

調理室では以下の事を心掛けて食事を作ります

- その1. 園児はもちろん、園にお子様を預けて下さっている保護者の皆様の安心・安全の為に衛生管理の徹底をお約束します。
- その2. 既製品・化学調味料は極力使用せず、だしの風味を生かした優しい味を心掛けていきます。おやつも手作りのものを中心に提供していきます。

ご質問などありましたら、調理室にお声掛け下さい。2025年度もよろしくお願ひ致します。

保健だより 2025年5月



4月は桜の便りから始まり、新入園・進級を祝う季節でした。新しい保育室や友達にも慣れ、子ども達の元気な声が聞こえてきます。全国では百日せきの流行がありました。園で罹ったお子さんは居ませんでした。寒暖の差が大きく、初夏のような日差しの日もあれば、ひんやりとした風が吹く日もありました。5月は例年より気温が高めの予想が出ています。暑さに向けて、着替え用に半袖Tシャツの用意をお願いします。

5月13日(火)は全園児健診です。

お休みをされた場合には、園医による0歳児健診が毎月第二火曜日にあるので、そこで受診します(年間2回の受診が定められています)。お子さんの身体の症状・発達についてなど気になる事がある場合には、担任にお声かけください。園医に受診・相談をすることができます。

毎月の計測

園では月に一回、計測(身長・体重)をしています。ウェブ連絡帳で確認していただけます。年度末(3月)にはお子さんの一年間の成長を確認して頂けるよう、成長グラフを配布いたします。



～地域の親子と園児の交流～



ひだまりは年末年始と祝日・休日を除く月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで、地域の親子に開放している子育てひろばです。12時から13時のランチタイムではスタッフと一緒に親子が食事をすることも可能です。また、月に一回土曜日に保育室を開放しています。

園舎とは少し離れた場所にありますが、室内にはおもちゃ・絵本・お母さん向けの雑誌等が置いてあります。お子様が遊んでいる姿を見ながらお母さん同士がおしゃべりできるスペースです。保育園の子どもたちとひだまりに遊びに来てくれる方たちとの交流を増やしていきたいと考えています。

今年度もよろしくお願ひいたします。



ひだまり 福田



ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2025年4月24日（木） 天気 くもりのち晴れ たんぽぽ組（1歳児）

「1人の世界から2人の世界に」

今日は高森公園へ散歩に行った。AとBはカップに砂を入れてままごとを楽しんでいた。砂場周りの落ち葉やタンポポをトッピングして嬉しそうにしている2人。そこへCがやってきて興味津々にカップの中を覗いた。羨ましそうにしばらく見つめるC。するとAが「どーぞ!」と言ってCにタンポポを渡した。嬉しそうなCの姿があった。保育者が間に入って言葉のやり取りをしなくても、相手の様子を見て行動した子どもたちの姿に驚いた。1歳児クラスでも、すぐに大人が仲介するのではなく、近くで見守ることも大切だと思った。

1歳半を過ぎると、自我が生まれ友だちを理解することも始まります。それ以前も周囲にいる友だちに対して関心を向けているのですが、1歳半ごろから友だちの見え方は格段に違って、友だちは自分と同じような存在と分かり、友だちと同じことをしてみたくなるのです。友だちが楽しそうにやっていることは、自分にとってもきっと楽しいと感じ、友だちの遊びを自分のレパートリーに取り入れ、あそびが豊かになっていきます。同じことをしてみたくなるのは、あそび以外の着脱や食事の場面でも見られます。苦手なものでも友だちがおいしそうに食べていると、自分も食べてみようという姿は1歳児のクラスではよく見られています。

Cは、AとBがままごとで楽しそうに遊ぶ姿が目に入り、一緒に遊びたかったのでしょうか。そして、AはCが見ていることに気が付き、自分が遊んでいるたんぽぽが欲しいのだろうとCの気持ちを察してくれました。1歳児クラスの子どもにも相手の気持ちを察することができる力が育っていることに驚かされました。上記のような穏やかな関わりばかりでなく、友だちに興味が出てくると、同じものを持ちたい、同じことをやりたいといった思いから物の取り合いなどもでてきます。子ども同士のぶつかり合いを通して、他者との関係を学んでいく良い機会となるよう、見守ったり、互いの気持ちを言葉にしていきながら丁寧に関わっていきたいと思います。



2025年4月14日(月)

天気 はれ

ちゅうりっぷ組(3歳児)

「だいすきなお花」

今日は、高森公園へ散歩に行く。道中でAが「森にたんぽぽがたくさん咲いていたよ」と教えてくれた。その言葉を聞いて、タンポポ探しを楽しみにする子ども達であった。公園に着くと、Aが言った通り、たくさん咲いていた。みんなで「どれにしようかな」とお気に入りのたんぽぽを探したり、桜の花びらを拾ったりして、楽しんでいた。帰り道でも「あそこにある」と周りをキョロキョロしていると、きれいに綿毛になっているたんぽぽを発見する。「(遅番で来る)保育者Bさんにプレゼントしよう」と摘んだが、ビニール袋に入れていたため、帰って来た時には、ほぼ綿毛が落ちてしまいがっかりする子どもたちであった。明日は、白河三丁目水辺公園に散歩に行く予定である。綿毛のたんぽぽがあるとみんなで「ふー」とあそべたら良いなと感じた。

4月から3歳児ちゅうりっぷ組さんになった子どもたち。2階で過ごす幼児クラスさんになりました。夕方は、ひまわり組のお兄さんお姉さんたちと一緒に過ごし、新しい、興味深いおもちゃもいっぱいあります。毎日がとても楽しいようです。しかしこの時期3歳児クラスの子どもたちは、幼児になったといっても、まだまだ乳児の時の思いや感情を行ったりきたり。二歩進んでまた一歩下がるの繰り返しの時期を過ごしています。特に、言葉で自分の感情を伝えることが難しいこともあるので、周りの大人が状況から気持ちを推測して、「嫌だったんだね」「うれしかったね」など提示しながら気持ちを共有してあげることが必要です。また、大きな成長としては、いろいろなことに対して、今まで以上に興味関心がでてくる時期です。周りの大人が言った言葉やお友だちが使っている言葉に非常に敏感にもなります。日誌からAが言った言葉で、お友だちの多くが、たんぽぽへの関心を広げていきました。今後、その関心は、子どもたち一人ひとりの興味関心や成長発達の状況によって深く広がっていきます。絵本から同じものを探したり、絵にかいたり、図鑑で調べてみたり、また、おままごとの中でたんぽぽに見立てて遊んだりとその広がりには尽きません。毎日がそのようなわくわくした積み重ねで満ちているのが3歳児のクラスです。今から1年後がとても楽しみです。さて、この話の後日談があります。遅番できた保育者Bに子どもたちが言葉通り、たんぽぽをプレゼントしました。しかし、そのたんぽぽは綿毛が全くない茎のみのたんぽぽでした。保育者Bは、初めは???とと思っていましたが、その茎を水にさして置いたら、数日後、綿毛でいっぱいのたんぽぽができていたそうです。



